

保管用

(屋内・屋外用)

品名	灯具品番	吊具品番	器具質量	防爆構造
耐爆XJSD4130	JSF(JSFH)41130 VPH9	JK3130	12.0kg	耐圧防爆型 ExdeIICT5X
耐爆XJSD4131		JK3131	12.5kg	
耐爆XJSD4230	JSF(JSFH)42130 VPH9	JK3130	15.0kg	
耐爆XJSD4231		JK3131	15.5kg	
安増XJSE4130	JSF(JSFH)41330 VPH9	JK3130	11.5kg	安全増防爆型 ed3aG3
安増XJSE4131		JK3131	12.0kg	
安増XJSE4230	JSF(JSFH)42330 VPH9	JK3130	13.5kg	
安増XJSE4231		JK3131	14.0kg	
粉じんXJSS4130	JSF(JSFH)41430 VPH9	JK3130	11.5kg	粉じん防爆特殊防じん型 SDP-13
粉じんXJSS4131		JK3131	12.0kg	
粉じんXJSS4230	JSF(JSFH)42430 VPH9	JK3130	13.5kg	
粉じんXJSS4231		JK3131	14.0kg	

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

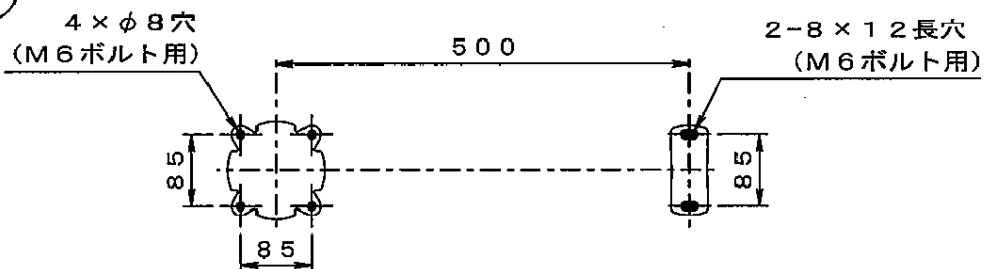
- この器具は、労働安全衛生法に定められた防爆電気機器です。
施工は施工説明及び関連法規*にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災・爆発の原因となります。
- 器具を改造しない。防爆性能を損なう恐れがあり、落下・感電・火災・爆発の原因となります。
- 振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。落下・感電の原因となります。
- 器具の耐風速40m/sです。これ以上の風速を受ける場所では使用しない。落下の原因となります。
- 天井取付専用ですので、壁取付はしない。落下の原因となります。
- 器具仮吊状態で横向きの力を加えない。落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災・爆発の原因となります。

*関連法規とは、労働安全衛生法、工場電気設備防爆指針(ガス蒸気防爆、粉じん防爆/公益社団法人 産業安全技術協会発行) ユーザーのための工場防爆電気設備ガイド(ガス防爆/公益社団法人 産業安全技術協会発行)を指します。

注意

- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災・ちらつき・短寿命の原因となります。

器具背面図

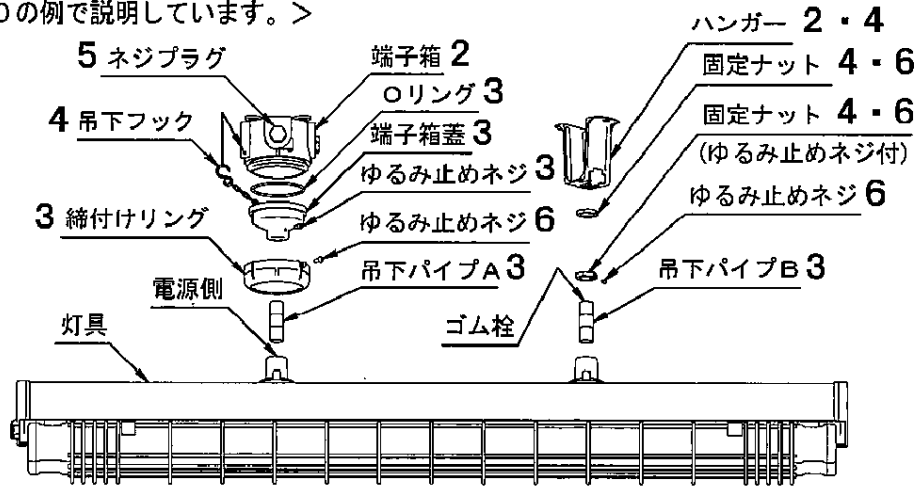


各部のなまえと取付方法

警告

●施工は、施工説明書及び関連法規にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災・爆発の原因となります。

< 安増 X J S E 4 2 3 0 の例で説明しています。 >



1. 取付前の確認

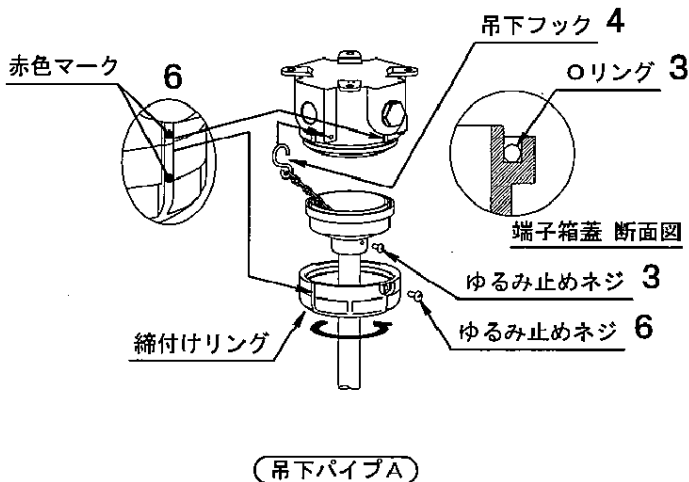
- ・器具質量に耐えるよう、取付ボルト強度を確認する。
- ・取付ボルトはM6を使用し、出しは20mm以上とする。
(推奨トルク: 1.5 N・m)
不備があると器具落下の原因となります。

2. 端子箱・ハンガーの取付

- ・端子箱およびハンガーをパネ座金(別途)とナット(別途)を用いて天井に取付ける。
取付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

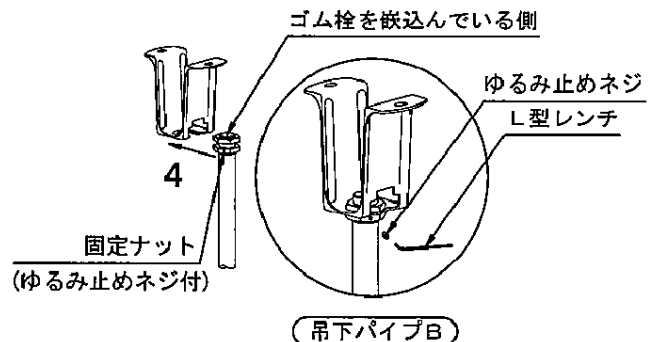
3. 吊下パイプA, Bの取り付け

- ・灯具に吊下パイプAおよびBをねじ込む。
- ・吊下パイプAに締付けリングを通して、端子箱蓋をねじ込む。(この時、端子箱蓋の溝にリングが入っているかを確認してください)
- ・ゆるみ止めネジを取付ける。
取付けが不完全な場合、器具落下、爆発の原因となります。



4. 灯具の仮吊

- ・吊下パイプBに固定ナットを取付ける。
(固定ナットは、ゆるみ止めネジ付を下側に取付)
- ・灯具を持ち上げ、吊下パイプBをハンガーにはめ込み、吊下フックを端子箱に引掛ける。
仮吊時は、必ず吊下パイプBを取付けて下さい。
吊下フックを先に取付けたり、仮吊が不完全な場合、器具落下の原因となります。



5. 電源の接続

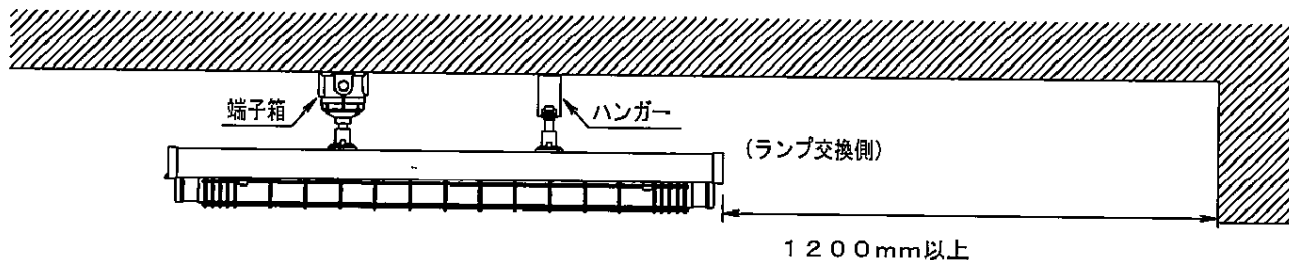
- ・電線管を端子箱に接続し電源を供給する。
- ・配管の位置や本数を変更する場合はネジプラグの付替えを行ってください。
ネジプラグを取付ける場合は確実に締付ける。
(締付トルク: 2.5 N・m)
- ・電源線を閉端接続端子を用いて確実に接続した後、絶縁テープ等を用いて十分に絶縁処理を施す。
- ・アース線を端子箱の接続端子に接続する。
D種(第3種)接地工事が必要。
不備があると、感電・火災・爆発の原因となります。

6. 灯具の組立

- ・吊下フックを端子箱蓋に収納する。
- ・端子箱に端子箱蓋をはめ込み、締付けリングを凸部(赤マーク)が合うまで90°回転する。
- ・ゆるみ止めネジを取付ける。
- ・ハンガーに固定ナットを締付ける。
- ・固定ナットのゆるみ止めネジを締付ける。
取付やゆるみ止めネジの締付けが不完全な場合、器具落下・爆発の原因となります。

設置場所について

- ランプ交換側はランプ交換スペースを確保ください。守れないとランプ交換ができません。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 感電・爆発のおそれあり。必ず電源を切り、爆発性雰囲気が存在しない事を確認し、ランプ交換を行う。
- 爆発のおそれあり。耐圧防爆型器具の場合は、電源を切ったのち3分経過後、ランプ交換を行う。
- 器具を改造しない。防爆性能を損なう恐れがあり、感電・火災・爆発の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、感電・火災・爆発の原因となります。

⚠ 注意

- この器具は、労働安全衛生法に定められた防爆電気機器です。
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。^{※1}
保守点検は関連法規^{※2}にしたがい、防爆の知識・技術を持った専門家に依頼してください。

※1 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な目安は8～10年です。

※2 関連法規とは、

労働安全衛生法、工場電気設備防爆指針（ガス蒸気防爆、粉じん防爆／公益社団法人 産業安全技術協会発行）
ユーザーのための工場防爆電気設備ガイド（ガス防爆／公益社団法人 産業安全技術協会発行）を指します。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し対策を講じてください。

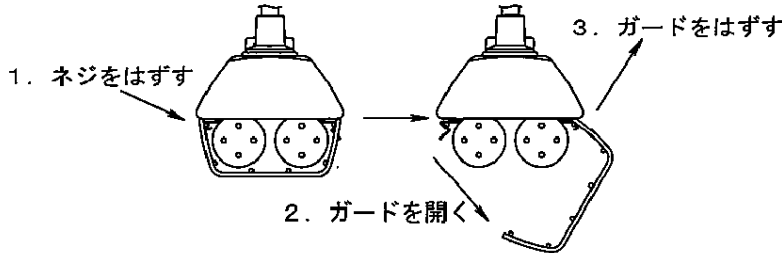
保証について

- ・保証について・・・ この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・ 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について・・・ 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。ガラスシリンダーを清掃する場合は、ガードを外して行ってください。（清掃後、必ずガードを所定の位置に取付けてください。）

<安全増防爆型・粉じん防爆特殊防じん型の場合>



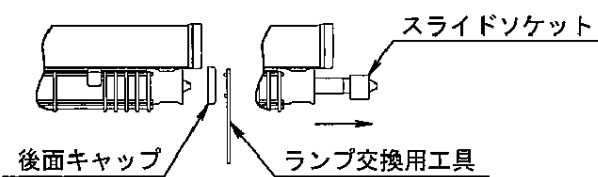
- ランプ交換について・・・ 本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

警告

- 感電・爆発のおそれあり。必ず電源を切り、爆発性雰囲気が存在しない事を確認し、ランプ交換を行う。
- 爆発のおそれあり。耐圧防爆型器具の場合は、電源を切ったのち3分経過後、ランプ交換を行う。

(パナソニック製ランプをご使用ください。)

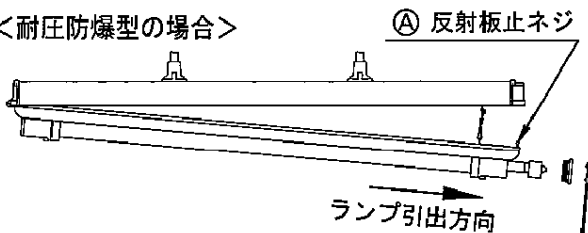
交換部品	蛍光ランプ	FHF32	FLR40S (ノ36)	FL40S (SSノ37)
------	-------	-------	--------------	---------------



1. ランプ交換用工具で後面キャップをはずす。
2. スライドソケットを引き出す。
3. ランプを交換する。
4. スライドソケットを奥まで差込む。
5. ランプ交換用工具で後面キャップを確実に締める。
不備がありますと落下・火災・感電・爆発の原因となります。

〔傾斜交換方法〕

<耐圧防爆型の場合>



器具の間隔が狭く水平方向に引出せない場合、A又はBの反射板止ネジを取りはずすことでランプ室が傾斜します。

1. ランプ交換用工具で後面キャップを緩める。
2. A又はBの反射板止ネジをはずし、傾斜する。
3. 後面キャップをはずす。
4. スライドソケットを引き出す。
5. ランプを交換する。
6. スライドソケットを奥まで差込む。
7. A又はBの反射板止ネジを取付ける。
8. ランプ交換用工具で後面キャップを確実に締める。
不備がありますと落下・感電・火災・爆発の原因となります。

<安全増防爆型・粉じん防爆特殊防じん型の場合>

